

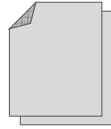


令和 8 年度 第 1 回 土佐和紙総合戦略推進会議

高知県工業振興課

R8.8.17 Mon

Agenda



01 報告

<全体>

- ・ 全体目標、KPIの振り返り

<基本方針1>

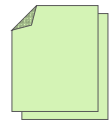
- ・ 生産量調査の結果
- ・ KochiSDGsの取得活用

<基本方針2>

- ・ 補助金の活用状況
- ・ 県指定和紙の研修状況[歴史文化財課]

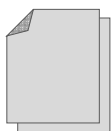
<基本方針3>

- ・ R8年度実施（予定）のイベントについて
- ・ トリエンナーレ進捗
- ・ 和紙データシート



02 協議

- ・ 方針毎の取組のポイント
- ・ 全体目標について…etc

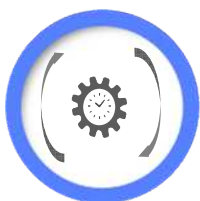


01 報告

GOAL(KGI) 土佐和紙販売額 R9 6.1億円

※6.1億円（機械すき：5億円、手すき：1.1億円）
※期間：5年間（R5～R9）

基本方針1 原料づくり



土佐楮の
供給量
(=使用量)

30t/年

原料生産持続化
の取り組み件数

5件以上

基本方針2 担い手づくり



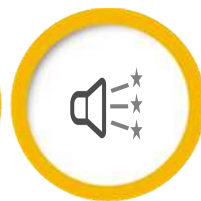
長期研修
修了生

3名以上

県指定文化財
和紙の技術保持
事業者数

2事業者以上

基本方針3 付加価値づくり



新商品開発
件数

40件以上

見本市・商談会
参加事業者数

60事業者以上

PR実施
件数

60件以上

【KPI】

はじめに__土佐和紙生産額調査結果について

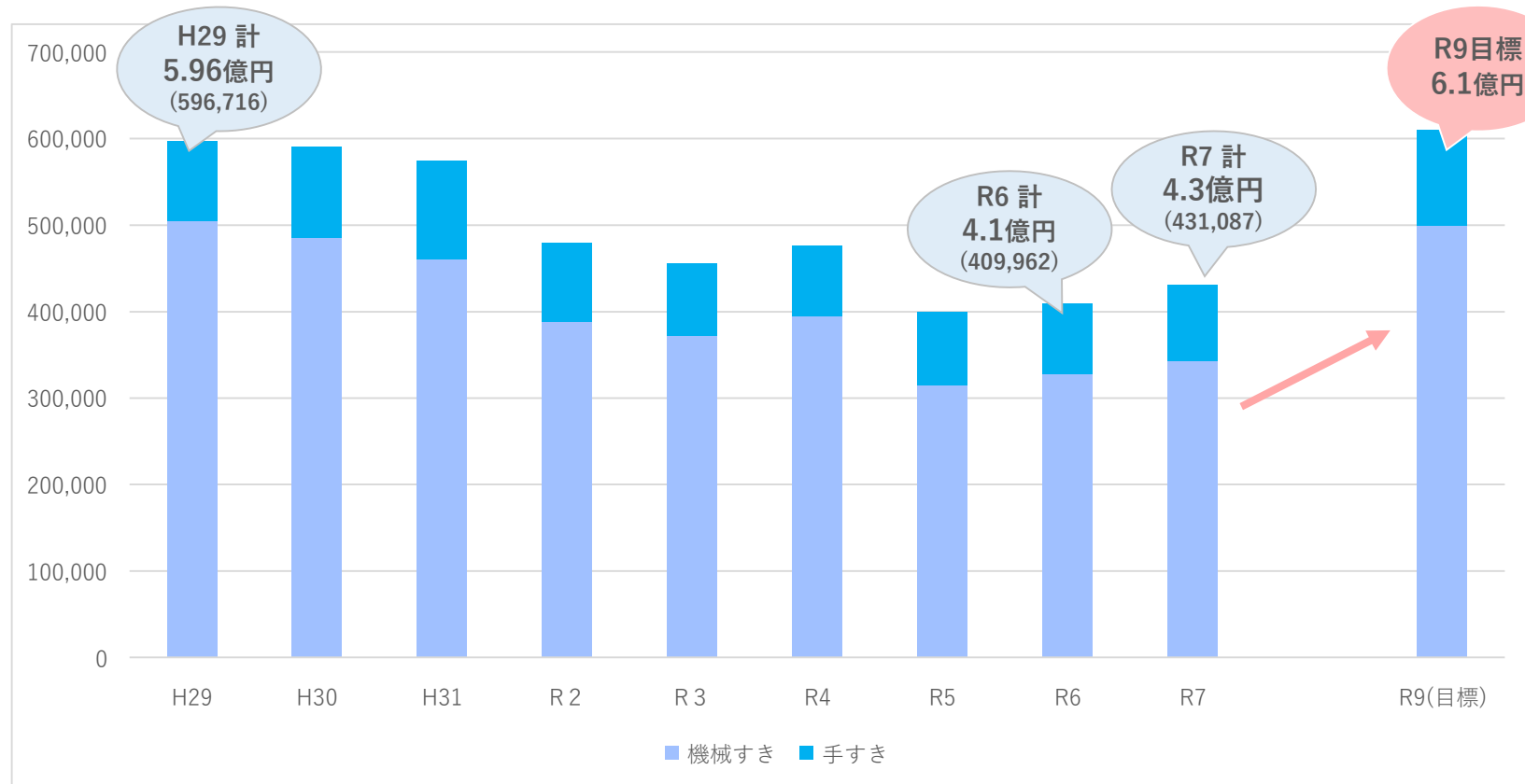
単位：千円

	H29	H30	H31	R 2	R 3	R4	R5	R6	R7	R9(目標)
手すき	91,916	105,585	113,960	91,755	83,872	81,742	84,407	81,754	88,059	110,000
機械すき	504,800	484,906	460,383	387,752	372,044	394,371	314,786	328,208	343,028	500,000

※一部事業者にて、
昨年度並の生産額を採用

* 手すき生産量：4者が微減だったが、全体的に前年度並みまたは微増となった。また、1者はコロナ以前の水準以上の実績（増加）。
結果、前年より増額となった。

* 機械すき生産量：売上げ構成比の大きい2者で対前1割程度の増加傾向だったため、合計額も微増。
売上げ増加傾向の事業者の聞き取りでは「（県内外問わず）廃業された会社の注文が流れて来ている」という実感がある様子。



K P I の達成状況

	KPI	目標値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	合計	達成率
基本方針Ⅰ	(1) 土佐楮の供給量 (=使用量) : <u>30t/年</u> 以上	30t/年	13.7t	16.6t	19.9t	-	-	-	≠累計
	(2) 原料生産持続化の取り組み件数 : 累計 <u>5 件</u> 以上	累計 5件	1	1	1	-	-	3	60%
基本方針Ⅱ	(1) 長期研修修了生 : 累計 <u>3 名</u> 以上 ※(数字)は短期研修修了生	累計 3名	(1)	(2)	3 (1)	-	-	3	100%
	(2) 県指定文化財である和紙の新たな 技術保持事業者数 : 累計 <u>2 事業者</u> 以上	累計 2 事業者	0	0	0	-	-	0	0%
基本方針Ⅲ	(1) 新商品開発件数 : 累計 <u>40件</u> 以上	累計 40件	24	5	1	-	-	29	72.5%
	(2) 見本市や商談会等への参加事業者数 : 累計 <u>60事業者</u> 以上	延べ 60件	27	20	11	-	-	58	96.7%
	(3) PR実施件数 : 累計 <u>60件</u> 以上	累計 60件	20	14	12	-	-	46	76.7%

※R8年8月17日時点の状況です。



各基本方針毎の活動報告

基本方針Ⅰ 原料づくり

基本方針Ⅰ 原料づくり__計画(P)、実施(D)

【指標】	計画【P】	実施【D】
(1)土佐楮の供給量(=使用量)	①和紙生産者への調査・提案 [工業振興課] 【4～8月】土佐楮の使用量、在庫量等の聞き取りを行い、土佐楮使用実態の把握と分析を行う。 【通年】土佐楮使用に繋がる情報交換、取組の提案を行う。 ●文化庁補助金の周知・活用の調整 【R7.4～6月】補助金の紹介ができる準備（資料）を行い、事業者への周知を進める。 【R7.6～8月】補助金活用希望者を選定し、文化庁調査官の現地確認の調整を進める。	①和紙生産者への調査・提案 [工業振興課] ・生産量調査で和紙生産者へ土佐楮の使用量、在庫量等の聞き取りを実施（4～8月） ●文化庁補助金の周知・活用の調整 [工業振興課] ・生産量調査と合わせて、自家栽培を実施する和紙生産者へ紹介を実施（R7）。 <u>⇒令和8年6月1日付で和紙事業者1社に対し交付決定</u>
	②楮生産者への調査・提案 【7～9月】県内産楮の生産量、栽培状況等の聞き取りを行い、まとめと分析を行う。	②楮生産者への調査・提案 [環境農業推進課] ・土佐楮の生産量調査__環境農業推進課調査中（8月中に取りまとめ予定）
(2)原料生産の持続化	①原料利用推進のための支援 【通年】生産団体等へ取得提案により、楮利用につながる運用を検討。 【通年】導入支援策を協議し、検討する。 【通年】土佐楮マークの運用再検討 過去の運用の振り返りと新レギュレーションの検討を行う。	①原料利用推進のための支援 [全員] <u>・KochiSDGsの取得活用を提案</u> [工業振興課] 本年度中の取得を目指し、制度の周知及び認証取得に向けた伴走支援
	②作業確保のための支援 【通年】 楮栽培拡大 、楮生産の作業確保に繋がる情報収集を行い、関係者に共有を行う。	②作業確保のための支援 [全員] ・中山間地域対策課事業の「いこうち！」活用継続[中山間地域対策課] <u>・県内集落活動センターに対し、楮栽培の新規導入・拡大の可能性について聞き取り調査を実施。（6月～7月）</u> ・楮栽培の拡大に向けて話し合うため、有識者を集めたプロジェクトチーム会を開催予定（9月中下旬）

(2) ①原料利用推進のための支援

KOCHISDGsマーク 意義



<様式2>の記載例

	あてはまる 3側面	SDGs 達成に向けた 重点的な取組【公開】	2030 年に向けた 指標【公開】	重点的な取組及び 指標の進捗状況 <登録年月日> 〇〇年〇月〇日	チェックリ ストの関連 する番号 【公開】
宣言 内容 (1)	環境 経済 社会	地元原料を守るための 取組	ボランティア参加件数 (2026: 2件→2030: 5件)	 	
宣言 内容 (2)	環境 経済 社会	地元原料の活用を進 める	土佐楮を使用した商品の売上 (2026年30万円→2030: 70 万円)	 	
宣言 内容 (3)	環境 経済 社会	後継者の育成	研修参加者 (2023-2026年: 計2人 2027-2030年: 計3人)	 	
宣言 内容 (4)	環境 経済 社会				

土佐楮を守る
=
伝統産業を守る

地域資源の循環

情報発信
知る機会増加

<R8年度>

STEP 1 | まずは申請にチャレンジ

STEP 2 | 目標の検討・取組内容の具体化

STEP 3 | 取組を実践（登録）

STEP 4 | 横展開（R8以降）

<取得によるメリット>

✓好循環が生まれることが期待できる

→SDGsと関連づけた活動として、団体の取り組みをPRしやすくなる

SDGsの方針に沿って消費者へ「土佐楮の利用」を提案することができる。

→企業や団体からプロジェクトのオファーがくる可能性が生まれる。

和紙を学ぶ人にも選ばれる産地にもなる

※繋がりのある楮農家等をHPで紹介することで、楮生産者へスポットがあたる。

→ビジネスチャンスや新しい取組みに繋がっていく



各基本方針毎の活動報告

基本方針Ⅱ 担い手づくり

基本方針Ⅱ 担い手づくり_P、D

【指標】	計画【P】	実施【D】
(1)長期研修修了生	①研修生の受け入れ環境づくり〔工業振興課、土佐市、いの町〕 【通年】長期研修受入2件 【4～9月】「技能取得（旧長期）研修」の受入れ窓口、ルール作りの検討。	①研修生の受け入れ環境づくり ・技能取得（旧長期）研修…土佐市 R8.9月～11月で受入予定（1件）
	②研修生の掘り起こし〔工業振興課、土佐市、いの町〕 【通年】関係機関と研修希望者の情報共有を継続	②研修生の掘り起こし〔工業振興課、土佐市、いの町〕 ・土佐和紙振興会わ紙。のHPにて「職人研修制度」を公開中 ・いの町紙の博物館の活用[いの町]…今後、協議予定
	③用具確保対策〔工業振興課、土佐市、いの町〕 【通年】全国の用具職人の研修状況などを用具保存会と再確認、和紙生産者とも情報共有を進める。	③用具確保対策 ・用具保存会で必要に応じて情報を提供を実施 ・生産量調査と併せて、活用可能な道具の情報収集（生産量調査）〔工業振興課〕
(2)県指定文化財である和紙の新たな技術保持事業者数	①土佐和紙保存会の活動支援〔歴史文化財課〕 【通年】重要無形文化財候補紙の技術定義検討、共有。 【通年】研修カリキュラムの作成、共有。 【通年】技術保持研修の実施は紙産業技術センターと調整のうえ、センター内での実施を進める。	①土佐和紙保存会の活動支援 ＜歴史文化財課_まとめ＞ ・県指定和紙の研修実施に向けて、土佐和紙保存会及び紙産業技術センターと研修内容について協議を継続。

★後継者育成対策事業費補助金
★設備投資支援事業費補助金

(1) ①研修生の受入れ環境づくり、③用具確保対策

■補助金活用状況

	後継者育成対策事業費補助金	設備投資支援事業費補助金
目的	地理的条件や歴史的背景から発展してきた本県の伝統的工芸品及び伝統的特産品産業を後世に伝えていくため、伝統的工芸品等産業の後継者の確保及び育成を支援する。	本県の伝統的工芸品及び伝統的特産品産業の生産性向上や競争力強化を図るとともに、生産者の独立開業等を促進するため、補助事業者が実施する製造設備の新規導入及び機能改善を伴う改修に対して支援する。
実施状況	研修生1名受入れ予定（土佐和紙振興会わ紙。） ・内容：大型和紙の手漉き和紙職人の育成 ・実施期間：R8.9.1～R8.11.30(月/10日、3ヶ月)	土佐和紙 11件（機械漉き 4 件、手漉き 7 件） ・内容：簀（竹、金属）、干し板、ビーター ・実施期間：R9.3.12迄
今後	土佐市にも同様に後継者育成補助金を申請予定	土佐和紙に関しては、一定のニーズに対応 今後、継続の支援が必要か検討要 【課題】 ・道具を製作できる人材がいない... ・道具の原材料が無い...

課題は一つだけでは無いのが現状...

(1) ②用具確保

紙漉き用具の保有状況調査

背景・目的

原材料の確保が困難、製作・修理人材が減少。現在の保有状況を把握

調査概要

対象：土佐和紙生産量調査対象者への聞き取り（R8.4月～7月）

調査結果から見たこと

① 保有

保有する用具は「簀桁」

保存状態は軽度の損傷～破損したものが多い。

※使用するには修理要

簀桁の種類・サイズは滝に渡り、個人差がある
(簀桁のセット、簀または桁のみ、使用不可等)

②維持・管理

現在使用している簀桁は軽度の損傷等については職人自身で修繕を行っている状況

大がかりな修繕は県外の職人へ依頼が必要
(時間・費用の負担大)

※用具の原材料（竹ひご、絹糸）や製作（修理）技術を持つ人材の減少が課題

③貸与・継承

用具を販売する考えは無い

職人自身が現在使用している用具自体数が少ない状況。職人として現役の間は貸与は難しい。

引退後に、信頼できる者に貸与・継承は可能性あり
(職人にとっては大切なものであり、信頼できる後継者に引き継ぎたい)

調査結果

○用具自体がすぐに無くなるのではなく、現在、職人が保有する用具・部材が将来的な資源となる可能性あり

▲一方、原材料・製作/修理技術・人材の減少により、将来的に維持・継承することが困難になる可能性もあり



今後の検討事項

- ・現存用具の情報整理
- ・原材料、入手先の把握
- ・製作、修理職人の把握
- ・保存、継承方法の検討



各基本方針毎の活動報告

基本方針Ⅲ 付加価値づくり

基本方針Ⅲ 付加価値づくり__計画(P)、実施(D)

【指標】	計画【P】	実施【D】
(1)新商品開発件数	①新商品開発の支援【工業振興課】 【通年】実現可能なアイデアの検討や、実現に向けた支援を検討。	①新商品開発の支援 ・紙技センターにて引き続き支援を継続 現在3件の開発支援中 ②技術面での支援
	②技術面での支援【紙産業技術センター】 【通年】センターの設備やノウハウを活用して商品開発を支援、情報共有。	
(2)見本市や商談会等への参加	①国内展開への支援【全員】 【4～9月】国内見本市等の情報収集、出展支援策について協議する。 【4～6月】和紙生産者への日曜市出店を積極的に声かけ(客船来港予定なども考慮)	①国内展開への支援 ・日曜市への出店を積極的に声かけ(2者出店済み、今後2者出店予定)【工業振興課】 ・大阪あべのハルカスでの日本博覧会「高知フェア」(10月28日～11月3日)への出展決定(土佐和紙の魅力を伝えるワークショップを実施予定)【工業振興課】 ・土曜夜市への出店支援[歴史文化財課](7月)→土佐和紙保存会から出店
	②海外展開への支援【全員】 【4～6月】海外展開について事業者要望ヒアリング	

基本方針Ⅲ 付加価値づくり__計画(P)、実施(D)

【指標】	計画【P】	実施【D】
(3)土佐和紙のPR 実施件数	①情報発信の強化〔全員〕 【通年】 WEB、SNS等での発信を継続し、共有する。 【通年】 関西アンテナショップ「とさとさ」での展示を検討 【通年】 土佐和紙台紙の利用促進 -県庁内で使用される賞状等への土佐和紙利用促進の働きかけ -土佐市、いの町でも役場内での利用促進を検討 【通年】 <u>手すき和紙組合HPの更新</u>	①情報発信の強化 ・土佐和紙台紙の利用促進 ⇒県庁各課で使用する賞状等に和紙利用を継続促進中[工業振興課]
	②イベントの開催・参加〔全員〕 ※トリエンナーレ次回展に向け、土佐和紙販売促進策の準備。(国__伝統産業振支援補助金の活用も調整) 【通年】 商品メニューの造成 【通年】 ECサイトの開設 【4~8月】 アートワークプロジェクトとの連携 -和紙の提供、イベントへの協力など。	②イベントの開催・参加 ・和紙データシートの作成、利用の提案 <一覧（予定含む）> ・ <u>第13回トリエンナーレ展（9/19～11/15）「共鳴する版画と土佐和紙」</u> ⇒土佐和紙利用率：14.5%（前年比3.9%増） ⇒ <u>国の補助金活用決決定（入賞作家との交流）</u> ・土佐和紙マーケット[手漉き組合実行委員会]（5/3～5/4） ・紙とあそぼう作品展（7/20～8/16） ・土曜夜市[歴史文化財課]（7/12） ・Art & Craft Journey Fes2026（11/21～11/23）[工業振興課] ※よさこい高知文化祭2026関連事業

(3) ②イベントの開催・参加

■土佐和紙マーケットの開催

“土佐和紙マーケット” TosaWashi Market Vol.12.0

土佐和紙の魅力再発見。
希少な和紙との出会い、
和紙アートの制作体験が楽しめる展示販売会。

土佐和紙振興会紙。主催

2026
5/3 Sun ~ 5/4 Mon

場所
いの町紙の博物館

時間 5/3 9:00~17:00
5/4 9:00~15:00

ワークショップ、和紙販売会への入場無料
(博物館の展示をご覧の場合は入館料が必要です)

昨年好評を博した、土佐和紙マーケットの第2弾！

“土佐和紙職人による和紙や和紙作品の販売会”
“和紙作家によるワークショップ” を今年も開催します！

職人の技術が詰まった「アンティーク和紙」や「思いがけない逸品」の和紙に出会えるかも。
ご家族連れでもお気軽にお立ち寄りください♪

プログラム

和紙の販売会



土佐和紙職人の手で1枚1枚丁寧に選かれた
和紙や作家とコラボした和紙作品などを所
持しと並べます。
好評のグラム単位の量り売りも実施！
少量からでもお買い求めいただけます。

④紙の博物館1階ショップ特設コーナー
(ショップ奥)

ワークショップ



和紙作家と一緒に和紙雑貨・アートづく
りを体験できます。
参加作家：笑描きつる子、maito、
ヒガシモリナオ

④紙の博物館1階エントランス

主 催：土佐和紙振興会紙。いの町紙の博物館
後 援：高知新聞社・RKC高知放送・KSSさんさんテレビ・KUTVテレビ高知
高知県手すき和紙協同組合



【問合せ先】

いの町紙の博物館
〒781-2103
高知県香川郡いの町幸町110-1
tel/088-893-0886
fax/088-893-0887
mail/tosawashi@bronze.ocn.ne.jp



ワークショップなどの
詳しい情報はこちら

■第40回紙とあそぼう作品展

【よさこい高知文化祭2026特別賞】
『にじろさかな』
高知県立日高特別支援学校 中学部2年生

【大賞】
『夢花美姫』
高知県立山田特別支援学校 中学部1・2・3年生

【吉井源大賞】
『星降る夜のメリーゴーランド』
高知県立高知若草特別支援学校
子鹿園分校 中高等部

【高知県知事賞】
『みんなであそぼう ゆめのしま』
安芸市立井ノ口小学校

【高知県知事賞】
『ぼくたち、わたしたち、鳥!!』
高知県立高知ろう学校 中・高等部

【高知県知事賞】
『わくわくドキドキどうぶつえん』
黒潮町立入野小学校 2年 宮地 尚子

【高知県教育長賞】
『フジが通る未来と世界』
土佐塾中学・高等学校 中学美術部

【高知県教育長賞】
『子鹿 ワールドカップ2026～dreams come true～』
高知県立高知若草特別支援学校 子鹿園分校 小学部B組

【高知県教育長賞】
『かつおの一本釣り』
高知小学校 (造形教室) 3年 門田 岳丈

第40回
紙とあそぼう
作品展

会期
2026
7/20 月祝 ~ 8/16 日

いの町紙の博物館3階 9:00~17:00
(最終日は16:00まで)

主催
紙とあそぼう作品展開催事業実行委員会
(高知県・いの町・一般社団法人高知県製紙工業会・伊野製紙工業会・高知県手すき和紙協同組合・いの町紙の博物館)

後援
高知県教育委員会・いの町教育委員会・高知新聞社・NHK高知放送局・RKC高知放送・KUTVテレビ高知
KSSさんさんテレビ・毎日新聞高知支局・朝日新聞高知総局・読売新聞高知支局・エフエム高知

応援事業

いの町紙の博物館
〒781-2103 高知県香川郡いの町幸町110-1
TEL 088-893-0886
MAIL tosawashi@bronze.ocn.ne.jp

紙とあそぼう作品展
PV動画公開中

よさこい高知
文化祭2026

開催時間：9:00~17:00(最終日は16:00まで)
休館日：7/21・7/27・8/3
入館料：大人:500円(400円) / 小・中・高生:100円(80円)
※()は10名以上の団体料金

(3) ②イベントの開催・参加



ART & CRAFT JOURNEY FES2026 11/21~23開催予定

- ・子供たちが地域で活躍する一流の職人に触れ、ものづくりの魅力と、地域の伝統・文化・歴史を学べる文化教育型ワークショップ
- ・土佐和紙や土佐打刃物、陶芸、レザークラフトなど、高知のものづくり文化に触れながら、“本物”に出会える貴重な機会。

⇒メインコンテンツのART JOURNEYの大キャンパスには
本年度も土佐和紙が採用されます。

▶R8年度

- ・国民文化祭期間に合わせ、工業振興課 共催で実施。
- コンテンツには土佐和紙の利用を提案するなど、土佐和紙をはじめとした伝統工芸を総合的にPRできる場として進行中。
※県内だけでなく、県外からの観光客やインバウンドにむけても高知の伝統文化を知ってもらえる機会として期待!!

ART JOURNEY ① - 土佐和紙アートプロジェクト -

ART &
CRAFT
JOURNEY



参考：2025年製作作品

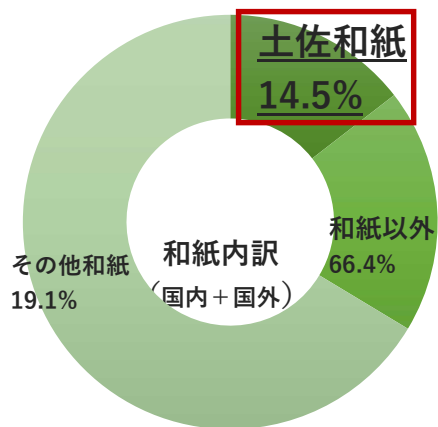
(3) ②イベントの開催・参加

■第13回トリエンナーレ展

- ・6/6～6/7 作品審査会実施
今回は35ヶ国より、計976点の応募あり、結果、入賞19点、入選41点の計60点が選出

【第13回展土佐和紙利用状況】

和紙の利用率



<和紙利用作品数>

第13回展 978作品

(うち土佐和紙利用作品 142作品) 前回比▲2作品

<和紙利用率>

第13回展

土佐和紙 : 14.5% (前回比3.9%増)

その他和紙 : 19.1% (前回比6.0%減)

和紙以外 : 66.4% (前回比2.1%増)



よさこい高知
文化祭2026

土佐和紙の利用向上

- ・6/15 令和8年度伝統的工芸品産業支援補助金（経産省） 交付決定

- ・9/19開会に向けて準備進行中



(3)②土佐和紙のPR

和紙データシート

土佐和紙の製作者・原料・特徴・用途などを「見える化」し、品質への信頼性や付加価値の向上につなげるため、「土佐和紙データカード」及び「データシート」を試作。
カードは名刺サイズで購入者に、シートはA4程度で、製品への同梱や購入前の情報提供に活用することを想定。

土佐和紙 DATA CARD

品質証明書・履歴書・産地証明書

紙名称 _____

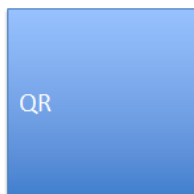
製作者（工房） _____

主原料 _____

サイズ _____

推奨用途 _____

ホームページ _____



土佐和紙 DATA SHEET（サンプル）

【基本情報】

商品名：
製作者（工房）：
製造年月（任意）：
シート作成者（任意）：※製作者と同じであれば省略可

【原料・製法】

主原料：
原料産地：
製法：手すき/機械すき
煮熟方法（任意）
漂白方法（任意）
乾燥方法（任意）

【製品規格】

サイズ：
坪量（g/m²）：
厚さ：
色調（生成・白など）：

【特徴】

特徴：（例）極薄でありながら強靱。
繊維が均一で修復用途に適する。

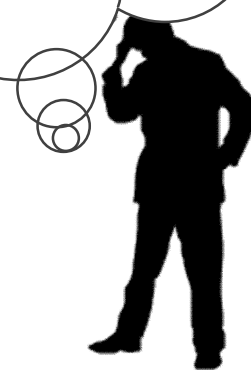
【推奨用途】

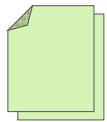
☐ 書道 ☐ 版画 ☐ 絵画
☐ 修復 ☐ 保存 ☐ 加工
☐ その他（ ）

【製作者コメント】

（例）高知県産楮を用い、一枚一枚丁寧に濃きました。
伝統技術を生かした土佐和紙です。

カードやシートを作成する際に、
作り手と買い手の両方にとって
有益であるようにするには、ど
のような工夫が必要か？





02 協議

基本方針1
原料づくり

皆さま ◀ 工業振興課

土佐楮の確保に向けた取組について、今後、支援を必要としているかお聞きしたい。

- ・ 誰が？ ⇒ 生産農家、和紙生産者、新規参加者
- ・ 何を？ ⇒ 人員、材料費、設備

※楮栽培の拡大に向けて話し合うため、有識者を集めた
プロジェクトチーム会を開催予定（9月中下旬）



基本方針2
担い手づくり

和紙生産者様 ◀ 歴史文化財課

ユネスコ無形文化遺産登録への今後の方向性を検討したい。
R9で第2期土佐和紙総合戦略が区切りを迎えるにあたり、
方向性について協議したい。

令和8年度
第1回 土佐和紙総合戦略推進会議 は以上です。

